

事務事業 No./名称	■サービス部門 こども-13 認可外保育施設助成事業				タイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				70	認可外保育施設助成事業	
主管課	保育課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	地域の子育て支援を行なう 待機児童0人						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日(住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯	・対象者数=各年3月1日現在 入所児童数			
運営資源 状況	決算値	62,680千円	56,098千円				
	(国・県)	7,096千円	5,450千円				
	(負担金等)						
	(一般財源)	55,584千円	50,648千円				
	人員配置数	1.0人	1.0人				
	人件費	8,968千円	9,071千円				
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	71,648千円	65,169千円				
	市民1人当りの経費	406円	369円				
	対象者1人当りの経費	823,540円	930,986円				
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名						
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 待機児童解消を目指しているが、むしろ増加傾向にある。更なる工夫、取り組みが必要。 認定保育施設の認可化のため、用地確保に努めている。					
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 認定保育施設や届出保育施設に対し、運営支援の充実を図ることにより保育所待機児童の受入れを促し、待機児童対策に取り組んだ。また、21年10月に玉縄地区の届出保育施設1か所を認定した。					
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 認定保育施設の認可化のため、園が中心となって用地確保に努めている。現在は、用地確保に目途が立ったため、認可化の実現に向けて具体的に対応しているところである。					
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 県をはじめとした各関係機関と連携を密にとりながら、認可化の実現に向けて対応していく。懸案のピョピョ保育園の認可化については、23年4月開園に向けて、手続きを進めているところである。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性				評価結果	改善の必要性	
A	有	認可外保育施設は、待機児童を抱えた本市にとって認可保育所と同様に保育資源として重要であることから、新たな認可及び運営支援を行っていくべきものとする。現在、進めている認定保育施設の認可化が重要課題であるため、実現に向け、取り組んでいる。			A	有	認定保育施設は、本市の現状として重要な保育資源であり、運営支援が必要である。現在、進めている認定保育施設の認可化の実現に向けて重点的に進めている。
課長名		保育課長 進藤 勝			部名・部長名		こどもみらい部 佐藤 尚之